



岡山大学記者クラブ 御中

令和 5 年 2 月 16 日
岡 山 大 学
岡山県立岡山芳泉高等学校

高校生、外国人留学生、高校教諭および大学教員による 「英語で切り開く医療の世界！」

◆発表のポイント

- ・ 医療分野は日進月歩の国際社会。日本からの活発な研究発信や、対等な討論が求められます。
- ・ これからの社会、真の意味での国際化を推進するためには、大学入学前から国際社会を身近に感じ、**単なる語学力の域を越えた国際感覚を養うことが重要な鍵になると考えています。**
- ・ 将来医療人を目指す高校生を対象に、**医療の現場でどのように英語力が活きるのか、**様々な可能性を感じてもらい、**英語学習への意欲を高める講座**を企画しました。

日本は世界最高水準の平均寿命を実現しており、国際的にみても高い保健医療レベルを有しています。現代社会では、IT 技術の発展や人の往来の増加等により、さらなる医療分野の国際化が求められていますが、日本ではまだ発展途上の段階にあります。また、生命科学領域の研究力向上のためにも、国際的な議論への積極的な参加、留学を通じた新たな技術の習得、研究成果の発信といった活動が重要です。日本のプレゼンスを世界に示すためにも、国際化に対応した教育や環境作りは喫緊の課題であり、岡山大学はスーパーグローバル大学としてその使命を果たす必要があります。

そこで、岡山大学医学部保健学科では、今回初の試みとして、将来医療人を目指す岡山県立岡山芳泉高校の生徒を対象に「英語で切り開く医療の世界」と題して講座を開講することとしました。

内容として、① 米国在住の日本人医師による「日米の医療事情についての講演と英語での質疑応答」、② 岡山芳泉高校英語教諭と大学教員による英語討論、③ 大学教員による留学経験の共有、④ 大学教員による「中学英語の知識で読み解く医学英語論文講座」、⑤ 外国人留学生との交流、⑥ 研究室見学などを計画しています。本講座を通して、少しでも「言葉の壁」を低く感じてもらい、その壁の先に広がる限りない国際世界の存在を体験してもらえる内容となっています。

高校時代から国際感覚を養うことで、国際感覚豊かで、自ら世界を切り拓いていける医療人の育成を目指します。また、高校生の英語学習へのモチベーションとなることも期待しています。



PRESS RELEASE

◆担当教員からのひとこと

語学力にとらわれず、「相手に対する興味」「相手に伝えたい自分の考え」を持つことが国際人への近道だと思います。高校生の皆さんはしっかり楽しんで、国際社会で活躍する自分の姿を想像してください。



西村 碧フィリーズ 講師



英語を学んで新たな世界へ！英語を使ったコミュニケーションで一番大切なのは英語力よりも「伝えたい内容・伝えようとする姿勢」です。完璧な英語より、相手に伝えたいという気持ちを大切に。

岡山芳泉高校 藤原 義典 教諭（英語担当）

■実施内容

日時：2023年3月17日（金）15：00～

場所：岡山大学鹿田キャンパス

将来、医療人を目指す岡山県立岡山芳泉高校の生徒を対象に以下の内容で開講します。

- 1) 米国在住の医師による講演（オンライン）
- 2) 英語での自由討論会（高校英語教諭、保健学科教員、高校生）
- 3) 大学教員による留学経験の共有
- 4) 中学英語の知識で読み解く医学英語論文
- 5) 外国人留学生との交流
- 6) 研究室見学



<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院保健学域 分子血液病理学

講師 西村 碧フィリーズ

(電話番号) 086-235-7424

(FAX) 086-235-7150

(メール) midorifiliz-nishimura@okayama-u.ac.jp

<お問い合わせ>

岡山県立岡山芳泉高等学校

教諭 長屋 年徳

(電話番号) 086-264-2801

(FAX) 086-264-2803



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。